

# SYDかわらばん

〈最新活動情報 No.141〉 2020年7月20日号

## ～歴史探訪～ 第1回天幕講習会

今年、新型コロナウイルスの感染拡大がまだまだ収束していない状況下、「子ども自然体験キャンプ」や伊勢青少年研修センターでの「少年少女講習会」を中止することとなりました。

105年前(大正4年)、修養団は「第1回中堅青年天幕講習会」を開催し、全国的規模で開かれた組織的な教育キャンプとして画期的なものと評価されています。文献をもとに当時の様子をご紹介します。

### 天幕講習会ができるまで

大正初期、修養団は寄宿舎(向上舎)4か所、地方支部40有余を抱える進展を見せ、団勢を拡大させた。青年団指導者にも修養団の同志が増え、蓮沼門三初代主幹は農村中堅青年の教育に情熱を注ぐ田沢義鋪、また農村改良や青年指導の経験・識見豊かな小尾晴敏などの指導者と交流を図った。

すでに地方では大正2年に広島県・廿日市で、また大正3年には静岡県・三保海岸で田沢の指導のもと天幕講習会がおこなわれていたが、門三は「国家の興隆の基礎たるべき地方農村の中心青年」の訓練を目的として、福島県桧原湖畔で全国的規模の天幕講習会を開きたいと希望、福島県耶麻郡の郡長の賛同を得て計画をすすめた。

### 天幕講習会のあらまし

大正4年8月10日～17日、全国の師範学校や農林学校から選抜された学生83名が集い、修養団主催「中堅青年天幕講習会」が開かれた。

参加者は10の天幕(テント)に分かれ、それぞれの天幕を「家」に見立て、3～4つの家で「組」を編成し、3つの組を総称して「向上村」という模擬自治村を構成した。



期間中は講義のほか訓練、静坐、念定(大困難に遭遇した古今東西の英傑の心境を偲び、その精神を学ぶ)、懇談などがおこなわれたほか、毎日正午からの2時間が自由時間として用意され、参加者は昼寝、読書、水泳、湖上での船漕ぎなどをした。



### 天幕講習会の反響とその後

参加者の感想として「風光明媚な環境」「全国同士の集合」「講師・参加者ともに真剣であったこと」などが良い点として挙げられる一方「雨天中の天幕」が大変であったとの声も寄せられた。

また、今後は「中心的人物となり青年指導にあたりたい」「農村改良に全力を注ぐ」「修養団支部の設立」など、参加者は講習会を通して決意を固めた。

その後、天幕講習会は大正13年までに全国で計11回開催され、天突き体操(国民体操)や櫓漕ぎ(ろこぎ)運動、瞑想法、腹式呼吸法などの鍛錬法・健康法も取り入れた。

また、講習会の期間中に皇族のご来臨がしばしばあり、第2回(大正5年、静岡県・白糸の滝)では県内に滞在中の華頂宮博忠王、伏見宮博信王のご兄弟、第7回(大正9年、箱根・仙石原)には当時

の皇太子殿下(のちの昭和天皇)、第8回(大正10年、青森・十和田湖畔)には淳宮、高松宮両皇土殿下(お二方とも昭和天皇の弟宮)がご来臨された。

第1回天幕講習会の会場は現在、SYDの野外研修施設「ばんだいふれあいびあ」として、子ども自然体験キャンプや各種野外活動の拠点として活用されている。



## 主催事業・活動等

### 報告

#### 【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉》

#### 報告

7/9 埼玉県久喜市立栢間小学校 38人

### 予定・連絡

#### 東日本大震災被災地訪問

青少年ふれあいボランティア

→ 8月28日～30日(第3回)は中止となりました。

#### 第4回「東京ベルズ」チャリティーコンサート

-ストリートチルドレン支援-

→ 12月5日(土)に延期いたします。

## ご案内

各連合会・クラブから全国各地の連合会・クラブ等(約170ヶ所)へ送付を希望される印刷物(「SYDかわらばん」に同封可能な印刷物)がありましたら、事前に社会教育部までご連絡ください。

また、連合会・クラブの総会、および各種事業のご計画が決まりましたら、合わせてご連絡いただきますよう、よろしく願いたします。

## 組織活動助成金制度を ぜひご利用ください

SYDでは、「クラブ・連合会の活動拡充と活性化」を図ることを目的として、活動に対して助成金を交付いたします。

クラブ・連合会単独、または他クラブ・連合会や他団体と合同で実施する活動が対象で、事前申請が必要です。

【修養団主催事業(「愛汗実践塾」「家庭教育セミナー」や子どもゆめ基金助成事業など)は対象外です】

助成金額は1回の活動にあたり最大30,000円です。

(申請は年度内1回に限ります)

助成対象経費、申請手続きなどはお気軽にSYD社会教育部までお問い合わせください。

### <発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-2  
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424  
E-mail: info@syd.or.jp  
ホームページ: https://syd.or.jp/

SYD

検索